

令和 3 年 度

明石市水道事業上半期の業務状況の報告

明 石 市 水 道 局

目 次

- 1 まえがき
- 2 令和2年度決算の状況
- 3 令和3年度上半期の事業の概要

1 まえがき

地方公営企業法第40条の2第1項の規定により、令和3年度上半期の明石市水道事業の業務量、経営成績、財政状況及び令和2年度決算の状況について報告いたします。

2 令和2年度決算の状況

令和2年度の給水人口は前年度より604人増加の299,602人、給水戸数は776戸増加の143,721戸となっています。また、年間配水量は32,532,330^{m³}（対前年度比0.5%増加）、年間使用水量は31,775,642^{m³}（同1.0%増加）となり、1日最大配水量は101,940^{m³}（1月6日）で、前年度より370^{m³}の増加となっています。

次に財政面で、収益的収支については、事業収益5,409,210,438円に対し、事業費用は5,101,366,811円で、差引307,843,627円の当年度純利益となりました。この結果、令和2年度末の未処分利益剰余金は603,994,815円となっています。

事業収益では、雑収益のうち施設分担金が増加したものの、新型コロナウイルス感染症に対する経済的支援として6か月間実施した基本料金免除措置などにより水道料金が806,998,564円（15.7%）減少したほか、受託工事収益などが減少したため、収益全体では、前年度に比べ710,875,039円（11.6%）の減少となりました。

これに対し、事業費用では、明石川河川水の水質対策費用として委託料などが増加しましたが、3か月間実施された県営水道用水供給料金の免除措置などにより受水費が311,226,576円（28.3%）減少したほか、修繕費などが減少したため、費用全体では前年度に比べ331,462,477円（6.1%）の減少となりました。

次に、資本的支出では、第3次整備事業として167,346,593円をもって、明

石川浄水場第7,8 源井導水管布設工事を実施したほか、浄配水施設及び管路の整備・拡張などを行いました。また、老朽化した配水管の布設替を行う老朽管整備事業に 704,089,777 円、その他の建設改良事業等を含めた建設改良費全体では、1,141,395,692 円を執行し、これに企業債の元金償還額 703,311,533 円を加えた総額 1,844,707,225 円（うち仮払消費税及び地方消費税 96,069,059 円）を執行しました。

これらの資本的支出の財源には、企業債及び工事負担金などの資本的収入 509,407,061 円（うち仮受消費税及び地方消費税 33,751,692 円）を充てましたが、不足する額 1,335,300,164 円は、減価償却費等の損益勘定留保資金で全額補てんしております。

なお、決算の概要は次のとおりです。

(1) 業務量の状況		(前年度比較)
期 末 給 水 人 口	299,602人	0.2%
年 間 有 収 水 量	31,775,642 m ³	1.0%
普 及 率	99.993%	0.001%
(2) 収益的収支 (税抜き)		(前年度比較)
水 道 事 業 収 益	5,409,210,438円	△11.6%
水 道 事 業 費 用	5,101,366,811円	△6.1%
当 年 度 純 利 益	307,843,627円	
(3) 資本的収支 (税込み)		(前年度比較)
資 本 的 収 入	509,407,061円	89.0%
資 本 的 支 出	1,844,707,225円	8.7%
収 支 過 不 足 額	△1,335,300,164円	

以上が決算の状況であります。

令和2年度決算報告書

収益的收入及び支出

収入（税抜き）

（単位：円）

款	項	決算額	備考
水道事業収益		5,409,210,438	
	営業収益	4,565,204,775	
	営業外収益	843,888,197	
	特別利益	117,466	

支出（税抜き）

（単位：円）

款	項	決算額	備考
水道事業費用		5,101,366,811	
	営業費用	4,941,494,492	
	営業外費用	156,611,827	
	特別損失	3,260,492	

資本的收入及び支出

収入（税込み）

（単位：円）

款	項	決算額	備考
資本的収入		509,407,061	
	企業債	120,000,000	
	工事負担金	369,089,050	
	他会計負担金	18,138,442	
	固定資産売却代金	2,179,569	

支出（税込み）

（単位：円）

款	項	決算額	備考
資本的支出		1,844,707,225	
	建設改良費	1,141,395,692	
	企業債償還金	703,311,533	

令和3年度上半期損益計算書

(令和3年4月1日から令和3年9月30日まで)

(税込み 単位：円)

費用の部		収益の部	
水道事業費用	1,679,787,768	水道事業収益	2,956,101,004
営業費用	1,605,349,144	営業収益	2,851,716,250
原水及び浄水費	1,068,314,384	給水収益	2,760,364,226
配水及び給水費	338,105,601	受託工事収益	1,988,132
受託工事費	3,650,607	その他営業収益	89,363,892
業務費	153,021,479	営業外収益	103,197,268
総係費	40,143,973	受取利息	330,289
減価償却費	0	他会計補助金	0
資産減耗費	2,113,100	長期前受金戻入	0
その他営業費用	0	雑収益	102,866,979
営業外費用	71,735,827	特別利益	1,187,486
支払利息及び 企業債取扱諸費	71,735,827	固定資産売却益	1,150,611
雑支出	0	過年度損益修正益	36,875
特別損失	2,702,797	その他特別利益	0
固定資産売却損	0		
過年度損益修正損	2,702,797		
固定資産除却損	0		
その他特別損失	0		
当期純利益	1,276,313,236		
計	2,956,101,004	計	2,956,101,004
当期末処分利益剰余金	1,400,308,051	当期純利益	1,276,313,236
		前年度繰越利益剰余金	123,994,815
		その他未処分利益剰余金 変動額	0
計	1,400,308,051	計	1,400,308,051

令和3年度上半期貸借対照表

(令和3年9月30日)

(税抜き 単位：円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
固 定 資 産	35,245,069,805	固 定 負 債	7,483,508,900
有形固定資産	31,470,509,798	企 業 債	6,306,319,754
土 地	2,956,972,387	引 当 金	1,177,189,146
建 物	737,533,001	その他固定負債	0
構 築 物	23,691,949,390	流 動 負 債	978,426,135
機 械 及 び 装 置	3,673,814,049	企 業 債	358,601,068
車 両 運 搬 具	2,391,616	未 払 金	223,403,720
工 具 器 具 及 び 備 品	30,941,976	前 受 金	12,656,956
建 設 仮 勘 定	376,907,379	その他流動負債	383,764,391
無形固定資産	106,305,387	繰 延 収 益	6,222,607,085
施 設 利 用 権	106,305,387	長 期 前 受 金	6,222,607,085
投資その他の資産	3,668,254,620	資 本 金	18,361,704,014
投 資 有 価 証 券	0	資 本 金	18,361,704,014
出 資 金	3,000,000	剰 余 金	5,872,991,920
そ の 他 投 資	3,665,254,620	資 本 剰 余 金	1,496,288,100
流 動 資 産	3,674,168,249	利 益 剰 余 金	4,376,703,820
現 金 ・ 預 金	2,409,015,259		
未 収 金	513,525,262		
貸 倒 引 当 金	△ 3,730,000		
有 価 証 券	0		
貯 蔵 品	34,656,150		
前 払 費 用	0		
前 払 金	553,595,428		
その他流動資産	167,106,150		
計	38,919,238,054	計	38,919,238,054

3 令和3年度上半期の事業の概要

令和3年度上半期の業務状況は、前年度同期と比べて給水人口で4,297人増加の304,039人、給水戸数では1,185戸増加の144,635戸となっています。また、配水量は178千 m^3 (1.1%)減少の15,955千 m^3 となり、有収水量は297千 m^3 (1.9%)減少の15,663千 m^3 となっています。

次に経営面では、給水収益で356,402,393円 (14.8%)、施設分担金などの営業外収益で6,843,667円 (7.1%)それぞれ増加したため、事業収益全体で367,776,441円 (14.2%)の増加となりました。この収益増加の主な要因は、令和2年度では新型コロナウイルス感染症に対する経済的支援として、6か月間実施した基本料金免除措置(令和2年度上半期では7月～9月検針分を免除)していたことによるものです。

一方、事業費用では、配水及び給水費で12,862,554円 (3.7%)、支払利息及び企業債取扱諸費で8,612,867円 (10.7%)それぞれ減少したものの、原水及び浄水費で令和2年度に県営水道用水供給料金の免除措置により免除されていた受水費(7月～9月)が反動増したことなどにより335,952,166円 (45.9%)増加したため、全体で316,264,232円 (23.2%)増加し、当期純利益は1,276,313,236円 (消費税等込み)で、前年度より51,512,209円 (4.2%)増加しました。

建設改良面では、水の安定供給を図るため、浄配水施設の整備・改修、老朽管の布設替工事など、必要となる施設の充実化に鋭意努めました。

以上のように、本年度上半期は、収入及び費用とも増加しましたが、収益が費用以上に増加したため、当期純利益は前年度を上回る状況となりました。

※給水人口の増加について・・・給水人口は、国勢調査人口による推計値に基づいて算出しています。令和2年度は平成27年度調査、令和3年度は令和2年度調査に基づいた推計値を使用していますが、令和2年度調査において市内人口が約4,000人増加する結果となったため、給水人口が大幅に増加しました。

令和2年度—令和3年度上半期実績比較

区 分	令和2年度上半期	令和3年度上半期	比 較
給 水 人 口	299,742 人	304,039 人	4,297 人
給 水 戸 数	143,450 戸	144,635 戸	1,185 戸
普 及 率	99.992 %	99.993 %	0.001 %
配 水 量	16,134 千m ³	15,955 千m ³	△178 千m ³
有 収 水 量	15,960 千m ³	15,663 千m ³	△297 千m ³
上半期増加給水人口	744 人	4,437 人	3,693 人
上半期増加給水戸数	505 戸	914 戸	409 戸